



若年層や高齢者への 生活環境整備と スポーツ施設の整備を

自由民主党議員団 光田 茂 議員

12月16日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1)衆議院議員総選挙の結果に係る市長の見解等 (2)「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録に向けた現況と今後の対応 (3)地方創生への取り組み ■2 若年家族への生活環境支援の取り組みと成果について ■3 生活道路の整備の現状について ■4 教育・福祉行政について (1)小学生的学習態度悪化の状況とこれまでの取り組み (2)小規模特認校の現況 (3)特色ある大牟田の教育 (4)(仮称)子ども課の設置 ■5 文化・スポーツの振興について (1)(仮称)総合体育館建設計画 (2)御大典記念グラウンドの改修 (3)延命球場の改修 (4)諏訪公園イベント広場の施設整備 (5)文化団体への支援

若年家族への生活環境支援 の取り組みと成果について

問 大牟田の将来のまちづくりを語るには、若年家族の安定した定住が不可欠だが、支援の取り組みと成果を聞きたい。

答 25年度から市営住宅の空き家募集にて、新婚・子育て枠を導入し、2カ年で54件の応募があり、7戸の入居が確定している。

(仮称) 総合体育館建設計画

問 26年度から市民体育館基礎調査費が500万円計上されているが、その現況を聞きたい。

答 11月に本市と人口規模が似た山口県防府市の総合体育館ソルトアリーナ防府の視察を行った。また、市民やスポーツ関係者の意見・要望の把握にも努めている。

御大典記念グラウンド の改修

問 29年度に第二種公認検定があるが、今後の計画を聞きたい。

答 同施設の年間利用者は4万人を超え、幅広く市民に利用されている陸上競技場である。整備には多額の費用を要するため、助成制度等を活用し、29年度に公認検定受検ができるよう進める予定。



有明圏域定住自立圏の 推進で圏域に人口の創出を

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二 議員

12月16日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1)地方創生と本市の次期総合計画の融合性 (2)有明圏域定住自立圏共生ビジョンの取り組みと本市の構え ■2 本市の福祉政策について (1)今日の幼児・子供の置かれた状態の現状と課題 ■3 安心・安全のまちづくりについて (1)まちづくり協議会の現状と課題 (2)若い世代の参加体制づくりと助成事業の創設 ■4 本市の環境行政について (1)公害に係る環境調査の現状

有明圏域定住自立圏共生ビジョン の取り組みと本市の構え

問 有明圏域内に移住するよう大都市に事務所を設置したらどうか。

答 三大都市圏に活動拠点を置くのも一つの手法であると思うが、圏域自治体の意見を聞きながら、他の取り組みの調査や費用対効果の検証も必要であると考えている。

地方創生と本市の 次期総合計画の融合性

問 大牟田版のまち・ひと・しごと総合戦略と次期総合計画との融合性の基本的考え方を聞きたい。

答 総合戦略は、総合計画の施策事業のうち、まち・ひと・しごとの創生に係るものをまとめたものになると考えている。今後、国・県の動向を見ながら対応したい。

公害に係る 環境調査の現状

問 油漏れ事故や異臭についての苦情を聞いたが、環境調査の現状について聞きたい。

答 県と連携し、各法令に基づき72種の物質や項目の常時定期的監視・調査を行っている。苦情や通報には、現地調査を行い、改善指導等、問題解決に努めている。



人口減少対策により 魅力ある大牟田へ

無所属 入江 裕二郎 議員

12月16日 一問一答方式により質問

■1 地方創生について (1)人口減少問題への見解 (2)子育て支援の取り組み (3)地域経済活性化の事業戦略 ■2 世界遺産登録と三川地区の活性化について (1)世界遺産登録後の来場者予測と受け入れ対策 (2)施設の維持管理 (3)世界遺産登録後のおもてなし (4)三川坑跡整備基本計画の進捗 (5)近代化産業遺産を活用した三川地区の活性化 ■3 市立中学校再編について (1)学校跡地の活用

人口減少問題への見解

問 20歳から39歳の女性の数が、2040年に5割以上減ると日本創成会議で推測されているが、本市では、どう考えるか。

答 この年代の人口は、人口の再生産力をあらわす指標として重要であり、原因は、都市圏への流出、低い出生率と推測している。

多様な年齢層に本市に定住していただくため、雇用をはじめ、結婚、出産、子育ての環境など総合的な対策により、魅力あるまちづくりに取り組んでいく必要がある。

世界遺産登録後の来場者 予測と受け入れ対策

問 世界遺産登録後の宮原坑の来場者数をどの程度予想し、道路の

誘導案内や駐車場、観光案内の対策をどのように考えているか。

答 宮原坑の来場者数は、1日当たり約400人から700人程度を見込んでおり、普通車57台、大型バス5台を収容できる駐車場を整備している。

観光案内は、ガイドの充実をはじめ、情報端末機器を活用した施設案内システム等を検討している。